

平成二十八年

てだこ市民大学文化振興・教養学部

寸劇

「チンヌクジューシー」

昭和の時代」

平成二十八年九月三日（土）

敬老会公演プログラム（四十五分公演）

浦西中学校公演 プログラム（十五分公演）

九月九日（金）一年生

九月二十三日（金）三年生

十月七日（金）二年生

敬老会プログラム

一、 始めのあいさつ ①金城政榮 ②比嘉涼子

二、 寸劇「チンヌクジュシー昭和の時代」

ナレーション・音響 下地洋子

子守り 比嘉涼子

アンマー 砂川まり子

スー 盛島美江子

タンヌー 照屋 寛忠

ハーメー 玉城 圭子

三、 リズム体操

指導…下地洋子

(他、六名)

四、「北谷前」・・・解説ナレーション(金城政榮)

踊り手…盛島美江子、玉城圭子

五、カチャーシ・・・玉城圭子

(会場、全員で参加)

六、終わりのあいさつ 金城政榮

では始めに「チンヌクジューシー昭和の時代」の寸劇です。
皆さんチンヌクジューシーの歌を知っていますか？

そうですねーちよつと一番だけみんなで歌ってみましょうね。

(一番を全員で歌って声を出してもらおう)

今からする劇は「チンヌクジューシーの歌」を元に、昭和の時代を再現してみました。

バーキや クバ傘、シンメーナービなどの、昔の懐かしい道具が出てきます。

皆さんの一緒に思い出しながら見て下さいね。

皆さん歌詞カードありますか？「チンヌクジューシー」のわらべ歌ですよ。

一番だけ歌いますので見て下さいね。(一番をメンバー全員で歌う)

一番はアンマーお母さんの歌、二番はスーお父さんの歌、三番はタンメーおじいさんの歌、
四番はハーメーおばあさんの歌です。

昭和の時代の生活の様子を表現しました。昭和三〇年頃の様子を想像しながら見て下さいね。

「チンヌクジューシー昭和の時代」はじまり、はじまり

全員

それぞれ衣装を着て
舞台に立つ

敬老会用

春子

ハイターイ、みなさん

ワンネー 子守りの春子ヤイビーン。年はヤーチ ナトーヤビン

この子はワー ウツトの「正男」ンチ イチヨウヤビン。泣き虫だから デーjayイビーンド

(赤子をゆすりながら) よしよし

このカジマヤーは、ヒデおぼああの九七歳のカジマヤー祝いのアヤカーイヤイビーン

皆さんの健康長寿も ウニゲー サビラ(手を合わせる)

(赤子をゆする動作) よしよし

スーも、アンマーも、タンメーも、ハーメーも、大忙しだから、

子守りは私の仕事ヤイビーンド

でもね、ナチブサーだから、私が泣きたくなるサー(泣きまねをする)

赤子の泣き声

スーの仕事は畑サーと大工さん、アンマーの仕事は炊事と洗濯と芋ほり、

タンメーとハーメーは、豚とヤギと鶏の世話サーネー? みんな大忙しわけよ。

よしよし、アンマー早く帰らないかねー

赤子の泣き声

アリ、この着物上等でしょう? ワツター スーが「那覇の街」から買ってきた

「ゆたか」って言うんだよ。わかる? もらいたい?

でもさー、小さくなったら従妹の幸子にあげるんだよ。

アイ、アンマーが帰って来たよ。アンマーおかえりー。

衣装・小道具など

浴衣・草履

かざぐるま

おんぶ紐

赤子の人形

春子登場

ハイターイ、みなさん

ワンネー 子守りの春子だよ。年はヤーチ

8歳に見える？（会場の人の表情をみながら）

この子はワー ウットの「正男」だよ。泣き虫だから ジコー 大変よー

家の家族はサー、スーとアンマーとタンメーとハーメー、豚とヤギと鶏も沢山いるよ
みんな大忙しだからサー 子守りは春子の仕事だよー

でもサー 春子も忙しいよー

朝は学校に行つて、帰ったらサー、山にタムン拾いに行くサーね。

日曜は 学校は休みだけどサー・・・朝から晩まで子守りだよー、ハー

（ゆすりながら、カジマヤーをふいて 回す）

これは、ヒデおばあ様の九七歳のカジマヤー、みんなもらったことある？

赤子の泣き声

（泣かンドー、泣かンドー）ハー ワンガル泣きたくなるサー

アンマー 早く帰らないかねー

アリ、この着物上等でしょう？ ワッター スーがサー 《バークレー》から買ってきた

「ゆたか」って言うんだよ。わかる？

もらいたい？ でもさー、小さくなったら従妹の幸子にあげるんだよ。

アイ、アンマーが帰つて来たよ。アンマーおかえりー。

衣装・小道具など

浴衣・草履

かざぐるま

おんぶ紐

赤子の人形

タンメー

ハイターイ 私はアンマーの(チルー)ですよ
アキサミヨ一重サツサー(腰をトントン)

ウム 掘ってきたよーチンヌクわかるかね。里芋(チンヌク)
ウリ、バーキ。タンメーが作った、上等でしょう？

これは「ガンシナー」頭にのせて物を運ぶと痛くないさ。

ハ一、今日はアチサツサー。クリ クバオオジ 夏はイツペー上等さ一。

これはシンメーナーピ。ウム炊いたり、豆腐作ったりする。

これはウーシこれで豆腐を作るよ。

アリ、チュウーヌの夕飯ヌースガヤ一。チンヌクジューシー作ろうかネ一。

ホクホクして、おいしいよ

アリアリ ユンタンカイ夢中になって、やがてスーが帰ってくるさ一

お昼ご飯は クンスー汁と芋をあげようね。

あり、スーが帰ってきたさ一 スーお帰り一

衣装

頭に手ぬぐいを被る

バーキ

里芋

サツマイモ

クンスー汁

背景

シンメーナーピ

豆腐ウーシ

ハイサイ スーは今日も畑で チバテイ チヤビタンドー
これはタンメーが作った(オーダを見せる) オダーは
沢山運べるからジョートサー

アリ、今日はこれ(シブイ、チンクワー、チデークニ)を採って来たよ。

他にも タマナー、デークニ、シマナー 色々作っているサー(後ろの絵を紹介する)

沢山作って町にも売りに行くよ(売り歩く真似をする)

アリ、ヤークナトーサ お腹がすいたから、手足洗って「ウムとクンスー汁」食べようかねえ。

皆さん、クンスー汁わかる？(会場に呼びかける)「ゆしどーふ」のことさー

ワッター アンマーが作る クンスー汁は イッペーマーサンドー

アンセー クワツチーサビラ

アリアリ、タンメーは今日も何か作って ハマトーヤビンドー(退場)

ハイサイ スーは今日も畑で チバテイ チヤンドー

これはタンメーが作った(オーダを見せる) オダーは

沢山運べるからジョートサー

アリ、今日はこれ(シブイ、チンクワー、チデークニ)を採って来たよ。

他にも タマナー、デークニ、シマナー 色々作っているサー(後ろの絵を紹介する)

沢山作って町にも売りに行くよ(売り歩く真似をする)

アリ、ヤークナトーサ お腹がすいたから、手足洗って「ウムとクンスー汁」食べようかねえ。

皆さん、クンスー汁わかる？(会場に呼びかける)「ゆしどーふ」のことさー

ワッター アンマーが作る クンスー汁は イッペーマーサンドー

アンセー クワツチーサビラ

アリアリ、タンメーは今日も何か作って ハマトーヤビンドー(退場)

着物
クバ傘
ポー(棒)
オーダー

ハイサイ グスーヨウ 私はこの家のタンメーです。
歳は、八十七歳、ジコー ガンジュウ ソーイビーン。

トーカチには、村じゅう(ウマンチユスルテイ)「ウフスージ」サビーンサイ。
イツペーニヘーデービル。

長生きもいいもんですねー。皆さんも元気で長生きサビラヤーサイ。

昔は食べるものが少なくて 大変だったですよ。(間、会場に問いかける)
そうですねー、食べるものと言えば ウムとヤセーウブサーとソーミン汁小。

盆と正月のご馳走が楽しみだったですよー。

今は、毎日が盆と正月のようですね。

皆さんこれからも 命日ご馳走を食べて たのしく元気に過ごして下さいね。

アリ、これは何でしょうね？ (間、会場に問いかける)

そうです、これは私が作った サギジョウウキーです。

ウマガンチャーや この中から、ウムを取って、マーサンマーサンといってよく食べるよ。
みなさんウムは好きですかね？ ウムは植物繊維が多くて 体に大変いいですよ。

アリアリ、メンタのハーメーがウガン ウサギしに行くよー。

今日は何のウガンかなー。

年長者らしい服装

杖

サギジョウウキー

ヤー みなさん、おはようございます（こんにちは）。
私はこの家のタンメーです。

歳は、八十七歳だが、ジコウ ガンジュウしているよ。

トーカチは、村じゆうで ウフスージしてくれるそうです。
イツペーニヘーデービル。

昔は食べるものが少なく たいへんだったね。

そうだねー、ウム、ヤセーウブサー、ソーミン汁が多かったね。

盆と正月のご馳走が楽しみだったね。

今は、毎日が盆と正月のようだね。

アリ、これはサギジョウウキー。テンブラやウムを入れて保存していたんだよ。

孫たちはこの中から、ウムを取って、マーサンマーサンといってよく食べていますよ。

アリアリ、向こうから、メンタのハーメーがウガンに行きますよ。

今日は何のウガンかな。

杖
年長者らしい服装

杖

サギジョウウキー

ハイタイ、グスーヨーワンネー、メンタのハーメーヤイビーン。

皆さん皆さん聞いてください、タイヘンサー 隣のサンダー（三郎）がマブヤー落としたって、これからマブヤーグミのウートートーに行かないといけないさー

隣のサンダーはハティ ウーマクムヤイビーンドー 初め木から落ちてマブヤー落として、この間は石垣から落ちて、今度はマーカラ落ちたのかねー

皆さんも一日、一五日（チータチ一五日ネー） キツチャキ クルピサングトに チャーガンジュー ウタビミソリンチヒヌカンにウートートーしてくださいね。

アリ、今日のマブヤーグミの供え物は三本ウコーとマース小、サキ小（酒）では 行ってきますね。アキサミヨーナー サンダー マブヤー ウーテイクヨー タツクワリヨーヤー

ウートートー アートートー

ハイタイ、グスーヨー私はメンタのハーメーですよー。

皆さん皆さん聞いてください、タイヘンサー 隣のサンダー（三郎）がマブヤー落としたって、これからマブヤーグミのウートートーに行かないといけないさー

隣のサンダーはハティ ウーマクムンドー 初め木から落ちて、この間は石垣から落ちて今度はどこから落ちたのかねー

皆さんも一日、一五日には いつも安全で健康に、長生きさせてくださいと神様にウートートーしてくださいね。アリ、今日のマブヤーグミの供え物は三本ウコーとマース小、サキ小（酒）では 行ってきますね。

アキサミヨーナー サンダー マブヤー ウーテイクヨー タツクワリヨーヤー

ウートートー アートートー

着物

ビンシー

三本ウコー

杯

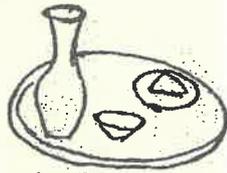
酒瓶



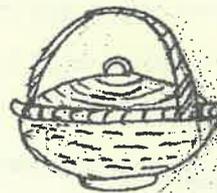
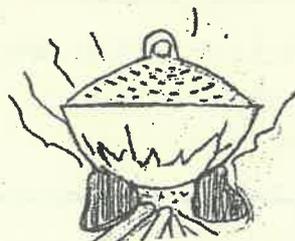
チンヌク ジューシー

作詞 朝比呂志

作曲 三田信一



- 1、 アンマー(お母の) タムの一(焚き木は) キブトンどー(煙たいよ)
キブシぬ(煙が) キブサぬ(煙くて) ナダ(涙) ソーソー
ヨイシー ヨイシー ナークナヨー(泣くなよー)
チューヌ(今日の) ユーバン(夕飯) ヌーヤガテー(何ですかー)
チン チン チンヌク(里芋) ジューシーメー(じゅーしーご飯)
- 2、 スーが(お父が) ハルから(畑から) ムドミソチー(戻られて)
シブイに(冬瓜) チンクワァー(かぼちゃ) チデークニー(黄にんじん)
クーフチ(粉ふき) ンムぬ(芋が) ニートンどー(煮えてるよー)
豆腐ウーシぬ(白が) ミグトンどー(回ってるよー)
クン クン クンスー(ゆしどうふ) セマカイー(7杯 *沢山食べる意味)
- 3、 タンメー(おじい) パーキヤ(ザルは) 荒パーキ(荒目のザルだ)
スルガー(しゅろの木の繊維) ニクブク(麻袋) サギジョーキー(下げザル)
ヤファラ(軟らかい) グミ(米)から ウサギリヨー(差し上げよう)
タンメー(おじい) シラギぬ(白毛の) チュラムンヤー(見事でキレイだね)
トー トー トーカチ(米寿) マギ(大きい) スージー(お祝い)
- 4、 サンラー(三郎) マブヤー(魂・たましい) ウトチャクトウー(落したから)
メンタヌ(真栄田の) ハーメが(おぼあが) アートートウー
ハナグミ(洗い米) チュシジに(一握り) サキ(酒) チュチブ(おちょこ1杯)
3本 ウコーとう(3本の線香と) マースグァー(お塩)
トートウ トートウ アー トートウー (ああ〜尊〜い)



中学校での生徒たちの感想

私は沖縄県民ですが、昔の人々が使用していた道具等「うちなーぐち」とか知らなかった
ので、みなさんの劇でたくさんの事を知る事ができました。

「チヌクジュシー」という歌は沖縄の感じがして、とても心地よかったです。今日
の劇は、面白さの中にも知恵があって、すばらしく思いました。

三年女子

私のおじいちゃんやおばあちゃんも方言を使って喋るのですが、ほとんど聞き取れません。
今の若い人は方言があまり使えなかったり間違えた使い方をしている人が多いらしいです。
沖縄の方言という文化が失われないように、私も練習をして使えるようになりたいです。

三年女子

方言で、沖縄の昔からの暮らしの様子を再現して頂いて、わからない方言はたくさんあつ
たけれど、絵で描かれた野菜や調理道具があつたから理解できました。
実際に昔の生活の様子を見ることが出来て良かったです。

三年男子

昔の時代風景等は知っていたが、沖縄の文化の大切さに改めて気付く事ができました。

三年女子

今回の劇で昔の暮らしについて知る事ができました。例えば、物を運ぶとき頭にカゴをの
せたり、昔は食べ物がいも中心だったこと。私のおじいちゃんはいもが嫌いです。
今回の劇を見て、嫌いな理由がわかりました。

三年女子

デイサービスで寸劇初披露

【浦添】市てだこ市民大学文化振興教養学部で学んでいる2年次の比嘉涼子さんら50〜70代のグループは3日、市西原区（西原区）のデイサービス「みかん西原」で琉球民謡「ちんぬくじゅうしー」をアレンジした寸劇を披露し、利用者や家族、職員らを喜ばせた。

脚本を手掛けたのは比嘉さん。2月の同大フェスティバルで発表したところ、このまま埋もれてはもったいないとの声がメンバーから上がり、大学以外

2年次の比嘉涼子さんら

浦添市てだこ市民大学

で初披露となった。

アットホームで軽快なテンポの寸劇は会場でも好評。一節ごとの歌に合わせアドリブのせりふも飛び出し、会場を沸かせた。

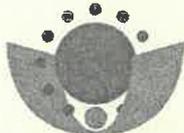
同大事務局宮城健主査は「見ている方もとても楽しい。レパートリーを増やし公演を増やしてほしい」と話した。

(翁長良勝通信員)

「ちんぬくじゅうしー」の寸劇を披露する浦添市てだこ市民大学の学生たち＝浦添市西原



浦添市てだこ市民大学の学生たちが、浦添市西原で寸劇を披露する様子。



てだこ市民大学

卒業研究

学部名：文化振興・教養 学部

氏名：玉城 圭子・盛島 美江子
和田 瑞希

1. テーマ

琉舞と髪結い

—浦添美景にのせて—

2. テーマ設定理由

琉球舞踊には、何十種類もの踊りと歌があり、それらすべてに着付けと髪結いの方法がある。琉球舞踊の歌の意味にちなんだ浦添市内の場所を探して撮影し、そこで着付けの方法と髪結いを紹介する冊子を作成。

3. 項立て

- ・もくじ・はじめに
- ・髪結いの基礎・琉髪 of 歴史
- ・「かぎやでい風節」と「那覇結い」
- ・「総掛」と「カムロー」
- ・「貫花」と「首里結い」
- ・「谷茶前節」と「田舎あん小結い」
- ・「浜千鳥節」と「那覇結い」
- ・「特牛節」と「真結い」
- ・「花風」と「辻結い」
- ・「高平良万歳」と「カタカシラ」
- ・「加那ヨー」と「那覇結い」
- ・「しょんだう節」と「真結い・変形」
- ・うらマップ・撮影スポットを探して
- ・慰問活動・卒論制作を通して

てだこ市民大学卒業制作

琉舞と髪結い - 浦添美景にのせて -



制作
2017年2月25日
てだこ市民大学卒業制作
「琉舞と髪結い - 浦添美景にのせて～」

第7期生・文化振興教養学部
盛島美江子・玉城主子・和田瑞希

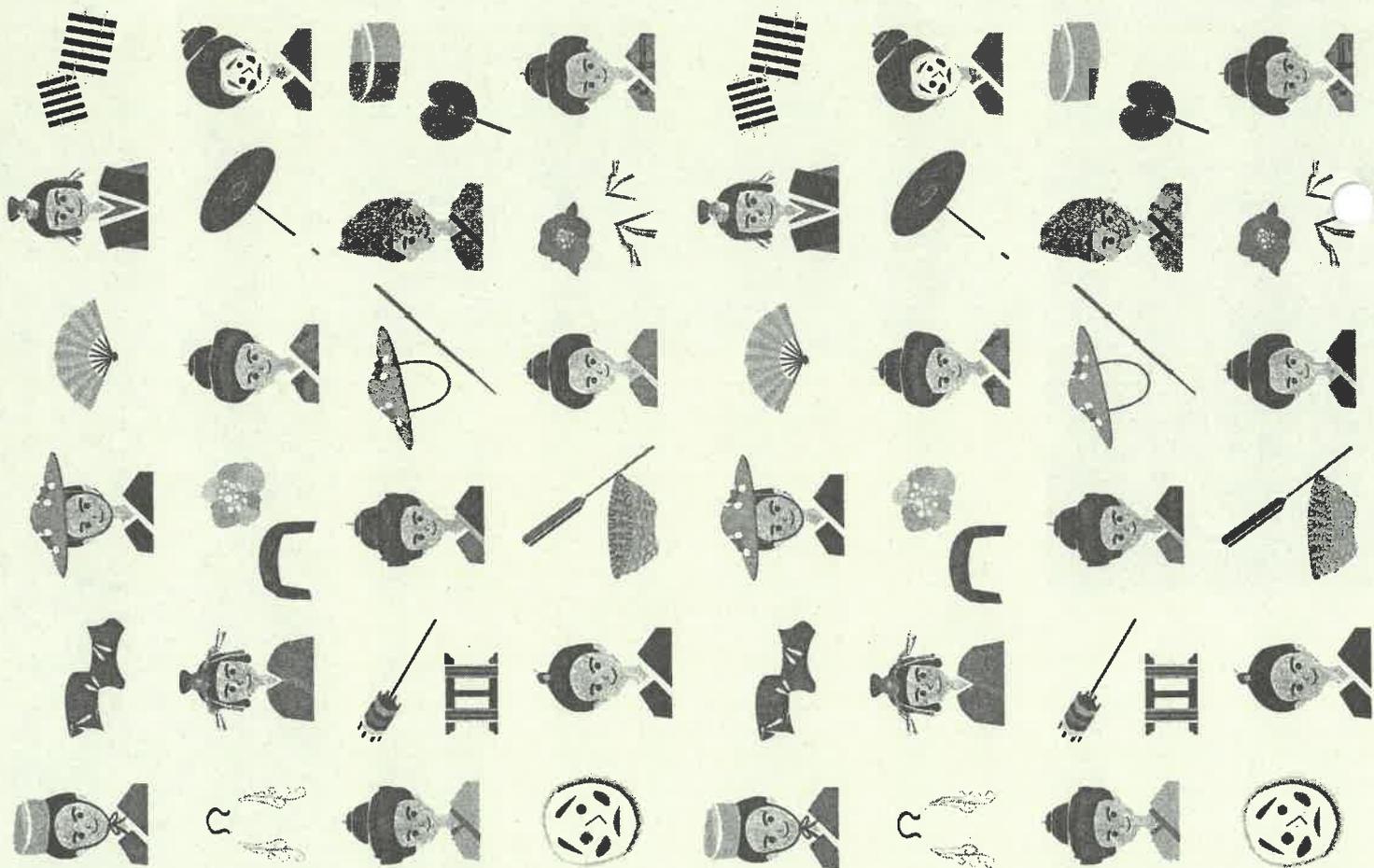


琉舞と髪結い

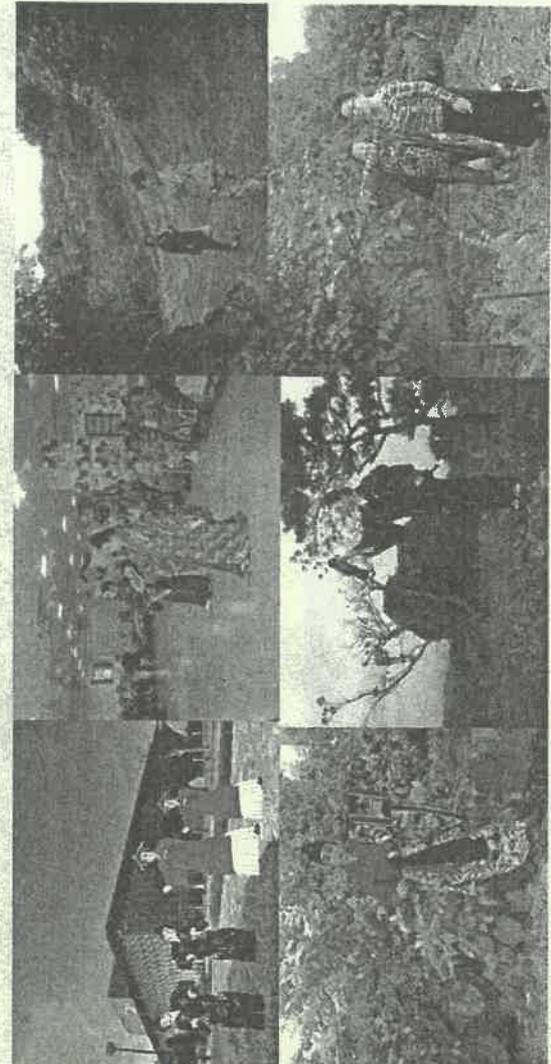
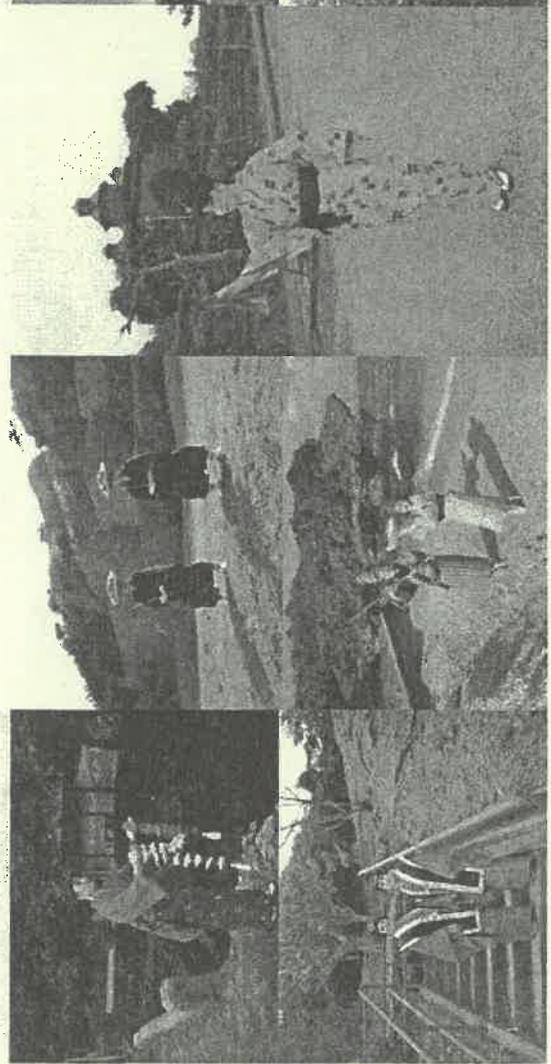
- 浦添美景にのせて -



てだこ市民大学卒業制作



- P1-2 もくじ・はじめに
- P3-4 髪結いの基礎・琉髪の歴史
- P5-6 「かぎやで風節」と「那覇結い」
- P7-8 「総掛」と「カムロー」
- P9-10 「買花」と「首里結い」
- P11-12 「谷茶前節」と「田舎あん小結い」
- P13-14 「浜千鳥節」と「那覇結い」
- P15-16 「特牛節」と「真結い」
- P17-18 「花風」と「辻結い」
- P19-20 「高平良万歳」と「カタカシラ」
- P21-22 「加那ヨ一」と「那覇結い」
- P23-24 「しよんだう節」と「真結い・変形」
- P25-26 うらマッパ-撮影スポットをさがして-
- P27-28 慰問活動・卒論制作を通して



はじめに

卒業制作のねらい

沖縄には琉球舞踊というすばらしい歴史ある伝統芸能が存在する。ここ沖縄には、そんな琉球を身近で見れる施設・国立劇場おきなや、趣味のサークル活動など、琉球に親しむ機会は意外と多い。その一つ一つの端り飾るには欠かさない「着物着付け」や「化粧」、「髪結い(からじ)」がある。これらは、踊りやうたの意味を深め、その時代や世界を演出するための素晴らしい伝統技術であるといえる。しかし、昨今では、着付けからメイクから髪結いまで、道場で習っているものさえ、一人前にできるものが少ない。また、習う機会も少ない。そこで、てなこ市民大学の卒業制作で本冊子を制作することで、正しい技術の継承、琉球の魅力をもっと深めることを目指したい。琉球に親しみがないうちにもわかりやすく、おもしろい！と興味を持たれたようなデジタルで制作物をこたわって作った。

また、文化振興教養学部での学び、冊子をまとめるにあたり得た技術や知識を地域へ貢献することを目標とし、卒業制作の中で、地域への慰問活動も行った。その活動の様子も合わせて報告したいと思う。

卒業制作の工程

スケジュール

- 2016年
- 4月：チーム結成(やりたいことが一致)
 - 7月：卒論の目的・方向性を決める。
 - 9月：着付け・髪結い種類決定、撮影会
 - 10月：資料あつめ、髪結いの歴史を調べる
 - 11月：冊子編集作業、慰問活動2
 - 12月：実演練習、冊子最終確認
- 2017年
- 1月：冊子入稿、本番に向けた実演練習
 - 2月25日：卒論発表会

役割

- 【ロケ班(撮影地探し)】 玉城・盛島
- 【資料集め・調べ】 和田
- 【髪結い・着付け】 玉城・盛島
- 【髪結いモデル】 下地・砂川・比嘉・玉城ゆりこ・玉城けいこ・盛島・和田(文化振興教養学部女性全員)
- 【冊子編集】 和田
- 【実演指導(卒論の本番で発表する)】 玉城・盛島
- 【実演】 玉城・盛島・和田・砂川
- 【慰問活動】 玉城・盛島

髪結いの基礎

髪結と琉舞の説明に入る前に、髪結いの基礎である髪部の呼び名と、それぞれの結い方の特長を見ていきましょう。

マチジ
(頭頂部)



首里結いの特長

士族の女性たちの髪型である首里結いは頭頂部に高め
のゴーを言うのが特長である。



那覇結いの特長

首里結いでは髪を頭頂部マチジで束ねるのに対し、
那覇結いではマチジよりややうしろで髪を束ねる。



辻結いの特長

辻結いは遊樂獨特の妖艶な結い方であるが、両ハイと
ウシルの出し方にその特長がある。右ハイは思い切っ
て横にはり出し低くおとす。左ハイは上に立ち上げ、
ふっくらさせ左右に変化をつける。これは行きな姿脚
氣を出すためである。



田舎あん小結いの特長

あん小結いは、ほとんどとんぱイもださずウシルもも出さな
い。カララジの中で一番要素単純な結い方になる。



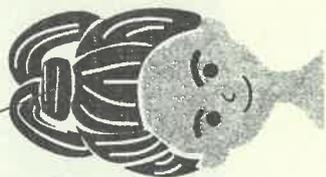
カタカシラの特長

琉球士族男子の髪型であるカタカシ
ラは、小さく結うことが上品とされ
た。若衆結いを終えると年齢15歳こ
ろになると、男性は中ぞりをし、髪
の量を減らして、小さめのカタカシ
ラを結った。

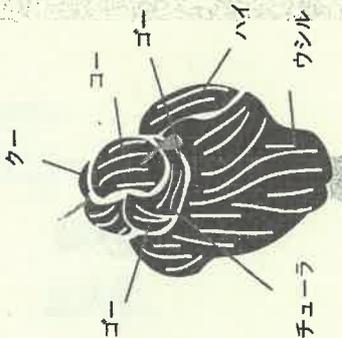


真結いの特長

真結いは、5歳から元服前の男子の
髪型である。



正面からみた図



後方からみた図



琉髪の歴史



琉髪にはどのような歴史があるのでしょうか。資料をもとに見ていきましょう。

神繩の古い言い伝えに「裸世カラ クバス世」という語句がある。意味は我々の祖先は、大昔まる裸で生活していたが、次第に人間としての恥を知るようになり、くぼの葉で体を覆って生活をするようになったということであろう。文明・文化の発達を見事に喝破している。

また、近世になって諸外国と交流するようになってから、彼等の文化習俗を比較するようになり「唐ヤヒラグン大和ーカンアウ、さらば沖繩ーカタカシラ」とも歌っている。意味は、「中国人は三つ編み・日本人はちよんまげ・神繩はかたかしかしらを結っているよ」である。

大昔

男も女も白麻の布で髪を巻き、頭の後ろから額のあたりまでぐるぐる巻にする。男は、鳥の羽で冠を作り、美しい貝と赤い毛で飾りをつける。婦人は、扇で手にイレスミをし模様を書き、薄衣模様の白い布を頭に被る。昔は、樹の皮や色のついた麻や色々な繊維で布を織り、それで作っている。

尚真王三十三年にはじめて金銀の簪制度と身分制を定めた

初めて簪の金銀でその位を決めた。そこで王は黄金の龍花模様の簪、王子でまだカタカシラを結っていない者は、黄金の龍に花模様の大きな簪をさす。冠帯の時にはじめて王子と按司は浮織の冠を王から与えられ、高い位にある役人と同じ黄金の簪をさすのと同じである。親方と呼ばれる法司と紫巾官は、金の菱花模様の簪である。御側御官から氏族の子弟に至るまでは、水仙花の銀簪である。

また、王子や按司でまだカタカシラを結っていない者はただの銀の大きな簪だけである。女性性は、閻摩大君加那志(国で最高の神女)と王妃は総貴金龍花大簪である。按司の婦人から群臣の婦女子は総銀の大簪をさす。

沖繩の伝統的な髪型

幼少期にはママーユニー、乳幼児のハーユニー、皿立、角立をする。男女とも三歳のとき吉日をえらんで男は皿立、女は角立と称する式がある。

成人前の男児の髪型をママーユニーと言うが、上流の方のものをウシリーと呼ぶ。女と同形であるが簪のさし方で男女を区別する。

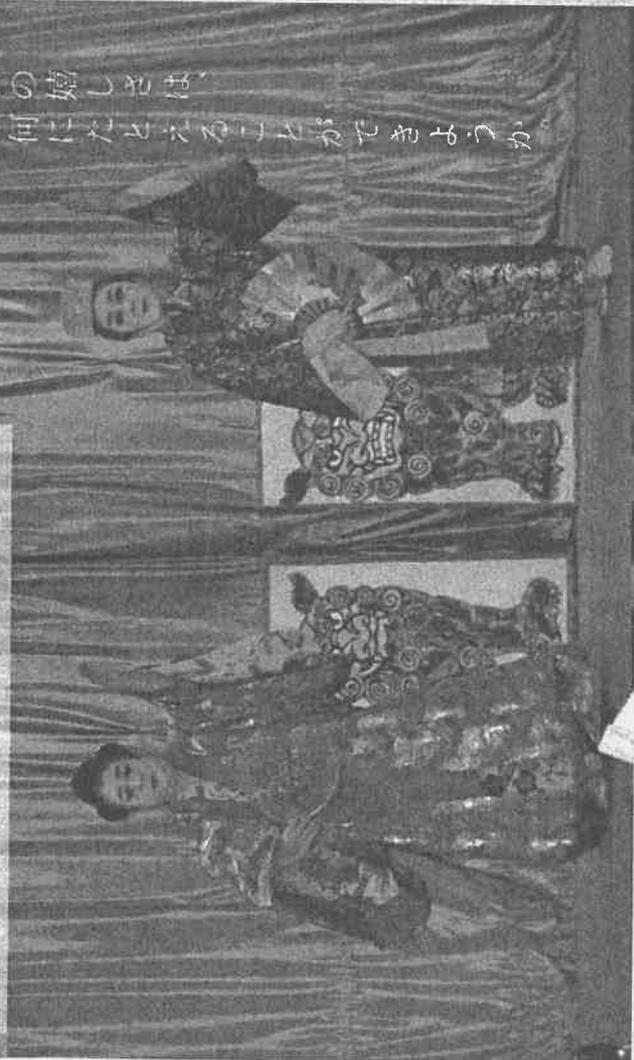
男はママーユニーからカタカシラに進む。一種の成人式であり基準は十五歳であるが各自の事情により十三歳で行うこともあった。

成人した女はカララジ(明治以降、日本髪と結い方を区別するために特にうなーカララジと呼ぶことが多くなった)を結う。

女カララジには、1) 上流士族夫人が結うアットーアマーカララジ 2) それ以下の夫人が結うアヤーメーユニー、3) 首里の一般庶民が結う首里カララジ、4) 那覇の町人階級の女が結う那覇カララジ、5) 田舎女が結う百姓カララジ、6) 遊女が結うジュユリカララジがある。

かぎやで風節

かぎやでいふふし



歌の意味

けんのほこらしやや なをしきやなれたてる つばてをらほはなの つばてをらほはなの つばてをらほはなの (ヨーンナー)
 今日の嬉しお節、何はたまたまこゝろがておよつか。
 (つかり) つばてをらほはなの つばてをらほはなの つばてをらほはなの (ヨーンナー)
 むたかも節が賑を受けてはつと歌いたまふ心持らである。

解説

「朝前風」の節にのせて歌われるこの高橋舞節は、沖繩舞節では冠帯の時節に聞かれるおめでたい節りです。番童・老姫の二人で踊る場合が普通ですが、節式としては老節のみ、あるいは若衆のみで踊る場合もあります。曲は狂歌で、この節りの中には狂歌のすべの、基本が盛り込まれています。
 老人は若衆の大主で、庶民の理想舞である若衆、若子孫繁栄の一つの条件を載せてあり、神格化されています。若工の舞袖「夜沙」の影響を受けた節りと関わります。
 「朝前風」とは、「かぎやで風」「風舞節」「中儀はんなお節」「若牛節」「若伊平舞節」の別名を呼び、琉球国王の御前で最初に演奏されるといふしきなりがあります。「かぎやで風節」は、近年になって祝賀の時節聞きで痛んに演奏されるようになり、若工の影が、昔は王族以外のところでは演奏されなかつたといわれます。

かぎやで風節の髪結い「那覇結い」の結い方



1 額の中央を真横に左右に半円を描くように髪を分ける



2 分けた髪は「マダジ(頭頂部)」の位置で「ムーティア」をする。



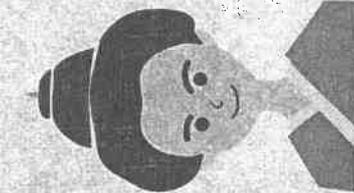
3 束ねた髪を右手の中指を強い後の方に曲げながら扇形を作る。



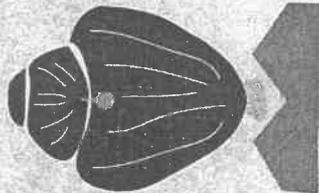
4 次に「ハイ」を作る。「ハイ」は左右からそれぞれ髪を取り分ける。髪の分量は前髪の生え際から耳のつけ根部分の裏で小指の水を強硬でよい。



5 「ハイ」はよく締を強い、顔前方の方向に曲げ「円形ハイ」の形にする。



出来上がり



6 「円形ハイ」の残った毛先は扇形からじの根元に巻きつけて処理をする。



7 後の髪はよく締を通し、うなじの部分でひとつにまとめる。

舞節の小道具



こちらには、めでたいお祝いと、伊祖で、伊祖にある介護老人保健施設ARCADIAさんに訪問活動した際、舞台で開ったものです。

2 かせかけ 総掛

あなたのお召物を
とんぼの羽のように
薄く薄く織り上げましょう



歌の意味

七穂と二十穂(ヨ一) 総掛けて置きおてい、明があけし羽(ヨ一) 網衣よすらね、
十七よみみ、千よみの網かい布を仕立ておいて、あなたのお召物とんぼの羽のように薄く薄く織り上げましょう。
昔の糸綴に、繰り返し返し、掛けて面影の、踏て立ちゆき、総かけて掛中
糸巻の作に糸を繰り返し繰り返し、思を勝る(サユヨ一ンナナ一)
ならぬものさらに、繰り返し返し、思を勝る(サユヨ一ンナナ一) 思を勝る(サユヨ一ンナナ一)
糸作りをして、あなたへの思いを物らわそうとするのですが、特に糸を繰り返し繰り返し進み進みつけていくにつれて、
あなたの思いは増すばかりです。
総も掛け満ちて、できやよ立ち戻ら(サ一サ一サ一) 思や西が原に、待ちゆらだいたいの(サ一サ一サ一)
総掛けの仕事も済んだので、さね連れ立って立ち取りますよう。新しい人は思の軍で待ちかかっているでしょうから、
総も掛けは増すばかりです。

解説

「懸」というのは、「つむ」で動いた糸をまく道具のことで、したがってここで「かせかけ」というのは布を巻く糸でしらえの
仕舞のことで、すべてがそうであつたように、沖原では近年まで上下を問わず糸巻のつむる道具は糸作りから製網に仕立て
るまですべて女性の仕事でした。この懸りはこのような習俗を背景にしています。
いとしい人を旅立たせ、その留守をわすれずかかると、遣かなる人を懸けつづねの懸きしたから布を懸って、いく心の動きをな
くかに隠滅しています。
この懸りは、小道具に「懸」と「掛」をあしらいい、快いリズムで運ぶ前想とわがやらずに繰りによって、多くの人々に親しまれ、
愛されている舞です。舞付けが存続するうちに、上流階級の夫人が仕事をしているのは、上流階級の舞が親しいときと
風所としては、網を神にままつけていく時の手の動きと、それにつれて、動きを動かせてゆく(動作の舞が親しいときと
います。

総掛の髪結い「カムロー」の結い方

1 額の中点を結線に左右に
半円を描くように髪を分
ける

2 分けた髪は「マナシ(頭
頂部)」の位置で「ムー
クワイー」をする。

3 束ねた髪を右手の中指を
使い、後の方に上げながら
鬘形を作る。

4 鬘形ができたら、元結い
をした位置でもう一度
「ムークワイー」をする。
指で左右半円を描くよう
にして分け分け目部分
をわらわすか分量の髪をし
り鬘形を作っている根元
部分にきまつけ「ムー
クワイー」をする。

5 「円形ハイ」は耳と目の
奥まで鬘等に目する。

6 「ハイ」はよく髪を通し、
顔前方の方向に曲げ「円
形ハイ」の形にする。

7 次に「ハイ」を作る。「ハ
イ」は左右からそれぞれ
髪を取り分ける。髪の分
量は前髪の生え際から耳
のつけ根部分の髪で小指
の長さ程度でよい。

8 「円形ハイ」の鬘った毛
先は鬘形からじの鬘元に
巻きつけて鬘照をする。

9 まず「マナシ」を鬘形から
じにかけて後の方に巻らす
の次に「ボサラ」を鬘形か
ら巻らす
⑩ 鬘形に「マエバナ」を鬘
形からじの鬘元に巻らす

10 髪はよく髪を通し、
うなじの部分でひとつに
まとめる。

11 髪かざりを通す

出来上がり

髪結いの小道具

わく
かせ
マナシ
マエバナ(緒・牡丹)
ハヤシ
バヤッ

うらスポット

新理容
桑畑
清原市の名産
として、桑の葉・桑の葉が
安波茶、前田に多く栽培
が、ちようとう桑畑を
あともあつたため、新
家にもあつた。桑の葉
とちようとう桑畑を

3 貫花

ぬちばな

愛しいあなたの方に、糸を紡いで
花輪にして首にかけてあげよう。



歌の意味

けできやよ押し運れて、あたり花もりが、花や梅雨かので、もりやならぬ、(へいやよ一ヌ、ヒヤルガビ)
まの運れ立って、最近くの畑の花を踏みに行こうよ、なればども、花は露に濡れているので、揺むことができない。
白瀬走川に、流れよる桜、すぐで思里に、興きやりはげら、(へいやよ一ヌ、ヒヤルガビ)
白瀬走川に、流れよる桜を眺めて、愛しいあなたの方に、糸を紡いで花輪にして首にかけてあげよう。
糸糸貫花や、里にうらら紡きて、白糸貫花や、よえれ歌、(へいやよ一ヌ、ヒヤルガビ)
糸糸貫花で、裏にうらら紡きた花輪は、あなたの方にかけよう。白い糸で織いた花輪は、いらぬいから紡工なさい、子供ならよ。

解説

本来この踊りは古高安福りに「貫花」に例して開始以降にできた舞踊りです。「貫花小」と呼ばれていました。しかし、この踊りがらてはやされ、とうとう本米の「貫花」は「本貫花」と呼ばれるようになり、「貫花小」が「貫花」の態になってしまっただけです。
踊りは「武蔵節」の一番出羽の踊りまでは、貫花を首にかけ、竹つ竹を胸の帯に挟んだままの手踊りです。後には、首にかけた貫花を両手に持ったり、片手にかまじたりして踊り、「よえれ歌」で花をばいと投げます。糸の向きになり、帯の間に挟んでいた四つ竹を即り出して歌謡ができます。曲は「何れ歌」によります。
「何れ歌」は四つ竹をカチ、カチと履中がに履らし、左右の手を交互に上下させたり、両手を大きく振ったりして、首の面白さを思ふ自分に誇りを表します。
舞付は、足踏に、てい一ヌ(一じ)を前結びにし、射がすりを右肩袂までに着て、帯の帯を結の、白足袋をはきます。小道具(舞中飾)は貫花(花輪)と四つ竹で、古典的な装束を持つ踊りです。

貫花の「清い「首里結び」の結び方



1



額の中髪を薬指に左右に
半円を描くように髪を分
ける

2



分けな髪は「マテジ(頭
原飾)」の位置で「ムー
タイ」をする。

3



現れた髪を右半の中指を
使い、後の方に傾けながら
鬢形を作る。

4



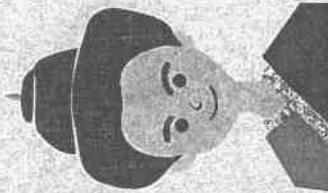
次に「ハイ」を作る。「ハイ
イ」は左右からそれぞれ
髪を取り分ける。髪の方
差は前髪の生え際から耳
のつけ根部分の髪で小指
の太さ程度でよい。

5

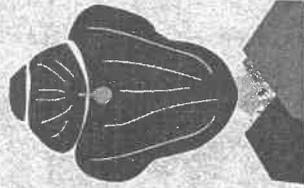


「ハイ」はよく櫛を通し、
櫛前方の方向に曲げ「円
形ハイ」の形にする。

6



出来上がり



後の髪はよく櫛を通し、
うなじの部分でひとつに
まとめる。



「円形ハイ」の残った毛
先は鬢形からじの根元に
巻きつけて処理をする。

舞名の由来



舞サービ
花

うらさぼつ



当山の石量

当山の石量は、菅原と本島中部をつなぐ
「香天山街道」の一部で、琉球王国時代、
國王はこの道を通って普里宿から普里間
宮へと参詣したといわれています。石量
道のいちばん低いところは牧瀬川が流れ
ており、大正時代に改築されたという美
しいアーチ型の石橋「当山橋」がかかっ
ています。

8 高平良万歳

たかであらまさんざい

親の仇を討とうとして、
万歳姿に身をやつし、
棒と杖とに大刀を仕立てて



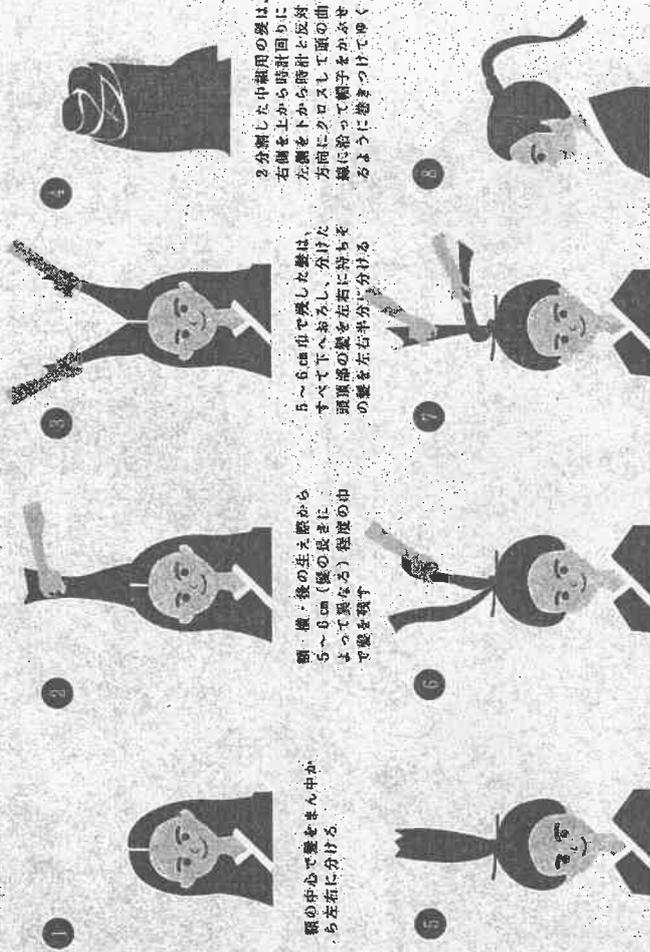
歌の意味

親の仇を討たんでやり、万歳姿に打ちやつれ、棒と杖とに大刀仕立てて、親の仇を討とうとして、万歳姿に身をやつし、棒と杖とに大刀を仕立てて、編笠深く顔を隠し、忍びに忍びて、に立ち出でて、耐を里々結え来れば、編笠に深く顔を隠して、こっそり一徹をのがれて家を出発し、敵を求めて利々々々を踏み来て、平良平忠お敵の門、兄弟しり目に見惑して、後の道に廻り来て、行く木古の御所に、赤るかは、我が敵に、息ぎ引合せら給れてやり、来古社様に参拜し、心で祈るのは、おが敵に早く打ち合わせてくださいと、堂々お願に願立てて、真向に向かひて眺むれば、四方の景色は、の、面社や、伊伊と良良間の旗中には、見れば、海士の釣り舟浮きつれて、神の國と見紛ふや、藤伊平藤良間鳥の海棲を見ると、道師の釣舟が波間に連なるように漂いでいて、神の國と見紛ふや、なんともいえずすばらしい景色である、それから下り下り来て、寺の門に立ち寄って、休む隙や余所知らぬ、そこからは下り下り来て、寺の門に立ち寄って、休む二人の姿は、大層な者とならぬ、

解説

この語りは一名「高平良万歳」とも呼ばれます。それは、後に同じような形で組踊り舞踊「八重瀬」が出てきたので、区別するため、一方を「八重瀬の万歳」、一方を「高平良万歳」と呼んだのだです。組踊の原は、女人服名のひやを隠し討ちにした高平良万歳を兄弟親子と高の藤原が討ちに行き、その頃の遊藝人である草太郎になりすまして敵に近づき、首級よく討ち取らすというもので、神祕感満載の物語です。

高平良万歳の髪結い「カタカシラ」の結い方



2 分削した中組用の髪は、右側を上から時計回りに左側を上から時計回りに方向にクロロシして面の曲線に沿って髪子をかみ合わせるように巻きつけてゆく

5 ~ 6 cm 巾で深した髪は、すべて下へおろし、分けた頭頂部の髪を左右に分け、その髪を左右半分に分ける

朝、横、後の生え際から5 ~ 8 cm (髪の成長によつて異なる) 程度の巾で髪を剃す

額の中心で髪をまん中から左右に分ける

右側 (2/3 部分) の髪に櫛を入れ、それを芯にし、髪を削り、右側 (1/3 部分) の髪を削り、上から時計回りに髪を削り、巻きつけてゆく。巻きつけの高さは中組程度の長さで作る。芯になる髪 (2/3 部分) になる髪を通す。そこで「ケー」になるアーチを作つたら一度ピンで仮止めする

髪「ムーナイター」の位置は頭頂部 (マチヤ) より 4 cm (高) くらい高の場所、束ねた髪を二つに分ける左側は 1/3 の分、右側は 2/3 程度

次に 2 で剃っていた髪を持ち上げ髪を入れながら「中組」をおおつようにして包み込み、一つに束ねる

巻きつけながらピンで仮止めする。これで「中組」は仕上がる。このようにすると、頭の形もきれいに修正され、仕上がりがよい。

残りの毛先の部分を時計方向に巻きつけ小さめの「ゴニー」を作る

出来上がり

ジューパー「かんざし」「カシラ」を差す。

うるすぽつ



9 かなよー 加那ヨ一

歌の意味

いとしい人の面影が立てば、
家にじっとしておれない。

あなのおとは、現んで忘れようとしても忘れ
ることができません。願っても心を知らわら
ずなままで打きゆき、ヨ一加那ヨ一
あれが情、まくりかたし
悪いは次強に響っていくばかりです。あなたの
愛情のしるしによって。

解説

「加那ヨ一」は、地方の「野良唄」で歌われていた男女の交際の歌
を明治になって島右衛門の調りとしてまとめられたもので、したがって
「加那ヨ一」の手振りの数々で構成され、種々な「加那ヨ一」で
リズムよく聞かれます。調りは、大團圓と聞かれる仕事な女唄りな
は全く別格的で、海を渡りしリズムにのって聞かれます。



加那ヨ一の髪結い「那覇結い」の結い方



頭の中央を基準に左右に
平円を描くように髪を分
ける。



分けた髪は「マチシ」(頭
頂部)の位置で「ムー
サイー」をする。



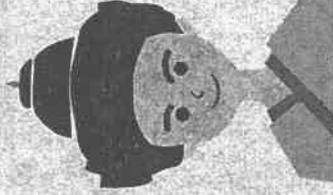
重ねた髪を右手の中指を
使い奥の方に曲げながら
圓形を作る。



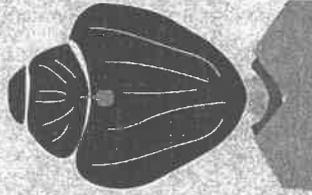
次に「ハイ」を作る。「ハ
イ」は左右からそれぞれ
髪を取り分ける。髪に分
髪は前髪の生え際から耳
のつけ根部分の髪で小指
の大きき程度でよい。



「ハイ」はよく櫛を通し、
前前方の方向に曲げ「円
形ハイ」の形にする。



出来上がり



「円形ハイ」の残った毛
先は扇形からじの根元に
巻きつけて処理をする。



後の髪はよく櫛を通し、
うなじの部分でひとつに
まとめる。

舞台の小道具



うらスポーツ

仲間



浦添美術館

浦添市美術館は沖縄県浦添市にある美術館
で、日本初の茶室専門美術館、沖縄初の公
立美術館として1990年に設立され、琉球
漆器をコレクションとしています。設計に
は建築家の内井昭雄があたり、このとんが
り頭のような建物が選り抜かれたと評判でもあ
ります。

浦添の裏!

うららスポット

撮影スポットをさがして

浦添には、意外に知られていない歴史にまつわる場所や絶景“うらら”スポットがあります。琉舞の歌の意味を深め、イメージを膨らませる、そんな景色や情景のある撮影地をさがしながら、浦添市内を探索してみました。



カーミージー



桑畑 (古民家)

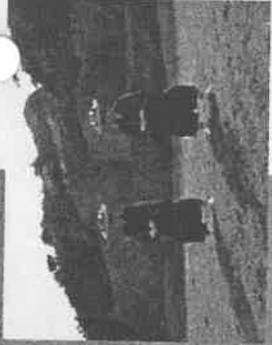
浦添の桑畑は、多くの観光客の目に留まる。その桑畑の風景は、浦添の歴史と文化を象徴している。桑畑の風景は、浦添の歴史と文化を象徴している。桑畑の風景は、浦添の歴史と文化を象徴している。



浦添の歴史と文化を象徴している。浦添の歴史と文化を象徴している。浦添の歴史と文化を象徴している。

浦添城址・ようどれ

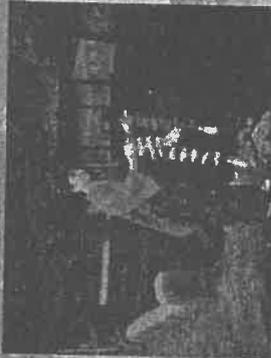
かの有名な首里城に王様が即位する前、実は、浦添に王がいたのです。津々浦々を駆けよほどの強きから「うらら」の大戦により、浦添城址として残っています。



URA SOE CITY 浦添市

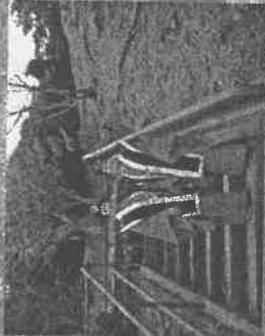
浦添美術館

浦添美術館は、浦添市の歴史と文化を展示しています。浦添美術館は、浦添市の歴史と文化を展示しています。浦添美術館は、浦添市の歴史と文化を展示しています。



当山の石畳

当山の石畳は、浦添市の歴史と文化を象徴しています。当山の石畳は、浦添市の歴史と文化を象徴しています。当山の石畳は、浦添市の歴史と文化を象徴しています。



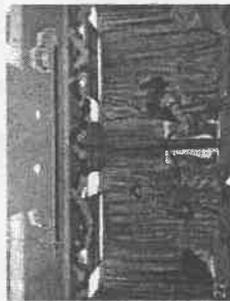
伊祖城跡

伊祖城跡は、浦添市の歴史と文化を象徴しています。伊祖城跡は、浦添市の歴史と文化を象徴しています。伊祖城跡は、浦添市の歴史と文化を象徴しています。



国立劇場おきなわり

慰問活動の様子



【10月28日】

場所：西原 みかん園

内容：お誕生日会にて披露

演目：かぎやで風節・加那ヨ一・前ぬ浜

【11月10日】

場所：協同病院

内容：お誕生日会にて披露

演目：かぎやで風節・加那ヨ一・前ぬ浜

【11月23日】

場所：ARCADIA

演目：かぎやで風節・加那ヨ一・前ぬ花

3回の慰問活動を通して、利用者からうれしいお言葉が届いた。「本格的な衣装と着付け・化粧で演じている姿を間近で見ることができて感動しました。」

「普段は外にでる機会がなかなかないため、大好きな琉舞も見に行けなくなっていたため、大変うれしかったです。」

簡業的な衣装で慰問されるグループが多い中、わたしたちは、こだわって一から着付け・化粧・髪結いをしていたため、舞台のようだとお褒めの言葉をいただきました。もともと年配の方にとっては琉舞自体馴染みの深いもののため、すごく喜ばれておりました。中には、一緒に口ずさんでいる方もいらっしゃいました。

また、お誕生日会だったため、かじやで風の衣装のうちかけを誕生日の方へかけたり、楽しまれたいの様子を見ることができました。

琉舞や髪結いの美しさを外で披露するという場が大変貴重で大切な活動と改めて知るきっかけとなりました。

参考文献

『琉球舞踊入門』 宜保栄治郎

『きからじの世界』 小波剛夫

卒論制作を通して

～大学で学んだことと地域への還元～

私は、てだこ市民大学の授業の中で石原直也先生と、宮城茂雄先生の「琉舞の世界」を受けて、なんて美しく、意味がわかるようなお舞台を築きあげたい！特に若者は琉舞が歌の意味や舞台美術・背景を知る機会がないので数人が高いと感じていました。元々、琉舞の先生として日々活動されている盛島さんと玉城さんは、逆に正しい着付けや化粧・髪結い・踊りでこの素晴らしい魅力を広めていきたい。その思いと私の疑問が合致して、今回の共同で卒業制作をするという形に至りました。

10この踊りは、髪結いのオーソドックスなものを紹介する代表的な踊りのものを選びました。最後の『醜童』は、卒論発表会にて、本番で実演をします。これを実演に選んだ理由は、まず、真結いをこの役柄に合わせて（醜い娘をこっけいに表現している）髪結いに特徴があるからでした。そして、この踊りは、古典舞踊の中で唯一の打ち組舞踊で、江戸上りや冊封使歓迎の演目の最後に『御後段踊り』として上演されたユニークな舞踊だったため、実演に適しているかと判断し、これは当日に披露することに決めました。

冊子を制作するにあたり、上記の参考文献を参考に大変勉強になりました。歌には元の歌の舞台となっている場所がありますが、てだこ市民大学で学んでいるのは、そこを見立てて、歌の雰囲気と同じような場所を浦添市内で探し、魅力発見につなげた面白くないというところから、撮影地を探すことになりました。当山の石畳、カーミージー、伊祖城跡など、普段道路を車で走ることにはあっても、意外に知らない名所で、とても綺麗な場所があるんだなと知りました。それも、大学内の授業でカーを調査する渡辺さんもいません。渡辺さんの授業ではそれを丁寧にメモを取り、イラストでわかりやすく地図をつくっていました。その経験を取り入れて、最後の『うらマツプ』では、地図の形式にまとめました。

最後にこの経験と知識や技術を地域に還元したいという思いから、3箇所慰問活動を行いました。事前にしっかりと着付けをし、風こたえのある美しい髪結いと琉装で踊ることが大切と感じていたので、お年寄りの方含め、施設の方も喜ばれていただき、なかなか本物を間近でみられる機会が少ないので大変貴重だったとご感想いただき、多くの人へ広めたいという思いがかなったと思います。最後に、学びの場を提供してくださった、てだこ市民大学運営のみならず、また、一緒に学び学び、髪結いのモデルとしても協力してくださった文化振興教養学部の同期のみならず感謝御礼申し上げます。





てだこ市民大学

卒業研究

学部名： 地域・学校支援 学部

氏名： 喜屋武 桂子

1. テーマ

朝の立哨ボランティアを通して

2. テーマ設定理由

子供たちの安全のために見守ってほしいとお願いされ、私で良ければ地域の力になればと思い、協力させてもらっています。

子供たちが、安心して登校できる地域づくりを目指して行きたいと思い、このテーマを設定しました。

3. 項立て

1. テーマ

2. テーマ設定の理由

3. 実践内容

4. 成果と課題

5. 課題への対応

6. 実践から学んだこと

7. 終わりに

1 テーマ

朝の立哨ボランティアを通して

2 テーマ設定の理由

新聞やテレビでは毎日のように子供達が事件や事故に遭っているとの報道があります。浦添市でも、毎年のように小学生の交通事故が報告されています。子供達が安全で安心して生活できる環境づくりや安全教育は私達大人が真剣に考えなくてはならない現在の課題です。

私は毎週金曜日に沢岬小学校区内の漢那商店前で立哨を行っています。朝は特に交通量が多く、信号機もなく、横断歩道付近に子供達が立っていても、車はスピードを落とすこともなく通り過ぎていくようなところでした。以前から、子供達が安全で安心して登校できるように見守る必要性があると感じていました。その中で子供達の安全のために「見守ってほしい」とお願いされましたが、自分に務まるか不安でその時は断らざるをえませんでした。しかし、ふと妹が小学生の頃、下校中に交通事故にあったことを思い出しました。

親としては、毎日、子供達が登校するにあたり、怪我もせず無事に帰宅できるようにと、出かける前にはおまじないのように「ほっぺにチュー」と「ギュと抱きしめて」、「いってらっしゃい」と子供達が見えなくなるまで玄関から手を振って見送ったものです。また、登校の際、どの道を通っていくのか、子供達と一緒に通学路の危険箇所を確認したりもしました。親であれば誰でも我が子が事件・事故に巻き込まれずに安全に過ごしてほしいと願うものです。いろいろな思いが頭の中をめぐり、「私でよければ」「地域の力になれば」と思い、微力ながら立哨を始めたのです。

平成26年から市民大学の地域・学校支援学部に入學し、保護者だけでなく地域の大人が協力をできる時に、できることをやっていくことが、長い目で見ると地域に貢献できるのだとわかってきました。

以上のような思いから、子供達が笑顔で安全に、そして、安心して登校できる地域づくりを目指していきたいと考え、このテーマを設定しました。

3 実践内容

(1) 浦添市の交通事故の現状

研究を進める前に、浦添市の交通事故の状況を調べてみた。資料は教育委員会からの提供で、平成25年～27年5月までの内容である。

事件・事故報告状況(平成25年～27年5月17日)

	交通事故					
	小学生			中学生		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
4月	1	4	2	1		
5月	2		2	1	1	
6月	1	2	—	1		—
7月			—			—
8月	1	1	—			—
9月	2	1	—		1	—
10月	1	1	—	1	1	—
11月		1	—			—
12月			—			—
1月			—		1	—
2月	1	1	—			—
3月		3	—			—
合計	9	14	4	4	4	0

小学生の交通事故被害は平成25年度は9件、平成26年度は14件発生している。平成27年度は4月、5月の2か月しかデータがありませんが、すでに4件発生し、前年と同様の事故の発生が考えられる。

交通事故の原因には、朝の登校中、渋滞する車の間から飛び出し、対向車線から走ってきた車にはねられる。(軽傷)信号機のない横断歩道を渡った際に車とぶつかる。頭部打撲(異状な

し)歩道わきから飛び出した際に走ってきた車と接触(軽傷)など、事故状況は信号機のない横断歩道を渡る際の事故や子どもが道路に飛び出し、通行中の車に接触事故が多いことがわかる。そのうち、4月～6月の交通事故の割合は高いことがわかる。小学生の交通事故被害者30名中10名が入学して間もない1年生である。そのことから、信号機のない横断歩道で交通安全指導することの重要性がわかる。

(2) 登校時の『交通安全街頭指導』

私の子供が通う沢岷小学校では、保護者の皆様にご協力いただき、子供達を交通事故から守るために「県営経塚団地前・沢岷ヒルズ前・沢岷げんき学童フェンス沿い漢那商店前」の4カ所を年間を通して街頭指導している。

交通安全指導の時間は午前7:30～8:15です。立哨の場所は4カ所あり、1つの場所を2人ずつで行うことになっている。朝は「おはようございます」の声掛けと、割り当てられたPTA会員は交通安全指導を行う地域ボランティアの方にも協力いただき、一緒に安全指導を行う。PTAの方にはPTA事務の方が月1回ランダムに場所を割り当てて当番表を作成している。

交通安全指導の割り当て表(抜粋)

1-2 喜屋武さんの保護者の方へ

ボランティアの方と協力して行ってください。

場所:漢那商店前 7月19日(火)AM7:30～8:15までよろしくお願いします。

交通安全指導の当番になっております。

沢岷小学校PTA 交通安全委員会

月日	1 沢岷ヒルズ前(年間を通して)		2 沢岷げんき学童フェンス沿い(年間を通して)		3 漢那商店前(年間を通して)		4 県営経塚団地前(年間を通して)	
7月1日 (金)	平良	2-3	末吉	2-3	長元	2-3	山村	2-3
	澤岷	2-3	島尻	2-3	伊佐	2-3	真栄城	2-3
7月4日 (月)	宮里	2-3	崎浜	2-3	渡嘉敷	2-4	平良	2-4
	赤嶺	2-3	山城	2-3	山之内	2-4	赤嶺	2-4
7月5日 (火)	平良	2-4	我部	2-4	安里	2-4	金城	2-4
	比嘉	2-4	平良	2-4	新垣	2-4	砂川	2-4
7月6日 (水)	赤嶺	2-4	喜納	2-4	與那城	2-4	宮里	2-4
	屋比久	2-4	外間	2-4	中村	2-4	南風原	2-4
7月7日 (木)	澤岷	2-4	前川	2-4	徳田	2-4	外間	2-4
	平良	2-4	小田	2-4	新嵩	2-4	小橋川	2-4

3) 具体的な実践

安全に横断させる。

登校時間、自家用車の往来が激しく、非常に危険な箇所の1つとなっています。

(漢那商店前の道路の様子)



4 成果と課題

①子ども達のために協力してくれる地域の方とつながることで私達親の学びの場にもなっている。

○地域の人との関わりの中で挨拶や礼儀を身につける事ができるようになった。

○「おはようございます」と挨拶できなかつた子ができるようになった。

○8時登校になったので、8時過ぎに登校する子も少なくなった。

○「今日は元気がないなあ?」「どうしたのかなあ?」と感じる事もある。

②学校や地域での活動に興味をもってもらい、ともに活動する仲間をどう増やしていくかが課題である。

○「子供が小さいから・・・」「雨が降っているから・・・」「仕事があるから・・・。」と立哨に参加する親が少ない事が課題。

○「できることをできる人ができる時に・・・」をモットーに協力できれば良い。

○登校時間を過ぎても、登校する児童に寄り添い、学校に連れて行く。

※まとめ

「地域力になれたら」と思い始めた立哨ですが、はじめは車のスピードに怖さを感じ、へっぴり腰でなかなか車も止まってくれず苦労しました。子供の歩幅のせまさには驚き、歩道を渡り切るまでには車が発進しようしたり、気づくと真後ろに車がくっつきとても怖い思いをしました。

「私には無理!」と何度も心が折れそうになりましたが、一緒に立哨をしている糸数さんに助けられ、安心して立哨ができ、感謝しています。今では子供達が安全に渡れるように道路の真ん中まで行き、誘導できるようになり、ドライバーの方々も止まってくれるようになり、子供達が完全に渡り切るまで見守ってくれます。

横断歩道を横切っていた子供達も、歩道を渡る事ができるようになりました。

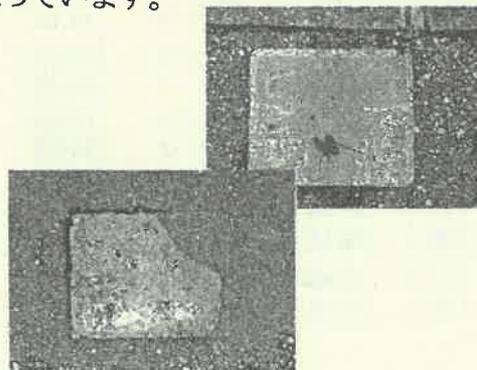
消えかかっている横断歩道の道路標識や立て看板の設置等などの環境作りにも行政に協力していただきたいと思います。

これからも地域の方々と一緒に子供達を見守っていこうと思っています。

5 課題への対応

「交通ボランティア」を増やすには

- ・身近な知人・友人に声をかけ、無理なく実践していく。
- ・車での子供達の送迎をできるだけ止めるようにし、徒歩で通学できるように働きかける。
- ・地域ボランティア方に曜日ごとに立哨してもらう。
- ・学校のPTAなどに参加を呼びかける。



*登校時の交通安全見守りの様子(4カ所)



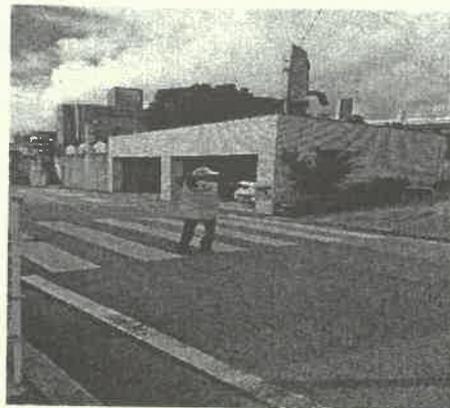
県営経塚団地前



沢岬ヒルズ前



沢岬げんき学童フェンス沿い



漢那商店前

* 立哨をとおして感じたこと

- ・子供達が安全で安心して登下校するには、見守りが大切。
- ・地域の環境づくりがとても必要だと感じました。
- ・最も大切な事は、笑顔で「おはよう」「いってらっしゃい」等のあいさつすることだと感じた。
- ・できる時に、できる範囲で、無理のないように、地域で見守る方がいると、安心安全の住み良い地域となる。一人の力では無理であり、多くの人の協力が必要である。

6 実践から学んだこと

教育は基本的に「学校教育」、「社会教育」「家庭教育」の3つの分野で成り立っている。ある当該地域を教育的視点で見たとき、3つの分野お互いに連携・協力し、教育を行っていくことを教育協働という。(下図)

私が、朝のボランティア活動で学んだこと・気づいたことは、まさに、家庭教育と社会教育の連携が必要だということです。それが密になっていくと、学校教育を支える力となるはずで、子供達を取り巻く大人(保護者、地域社会、そして、学校の先生方)が手を取り合い子供達を見守っていくこと「協働」であり、とても重要なことだと考えます。ボランティアをとおして学んだことは私を成長させてくれたように思う。これからも、自分の子供だけでなく、地域の子供達のために自分ができることを、できる時に、協力していきたいと考えるようになってきた。



参考:井上講四
那覇市講演会発表用
パワポ資料

7 終わりに

てだこ市民大学では専門的なことを学び、とても有意義な時間を過ごすことができました。

主人と私の職場の中間をとり、浦添に住まいを構え、安全なまちで安心して楽しく、子供達が健やかに育っていくように声かけ見守りをできる限り続けていきたいと思ひます。

高良学部長をはじめ講師の方々、事務局の皆様、2年間、大変お世話になりました。一緒に学んだ4名の皆様にもお礼を申し上げます。市民大学で学んだ事を自分や地域の方々の楽しい生活に役立てていきたいと思ひます。



卒業研究

学部名：地域・学校支援 学部

氏名：新本 淳

1. テーマ

「愛着と誇り・さらなる地域の活性化を目指して
～字宮城の地名由来の調査でルーツを知る～

2. テーマ設定理由

浦添市字宮城に住んで50年。神森小（小学神森か原）を卒業。

子供のころ字宮城・小字神森か原に神様がいると信じていた。

字宮城の地名由来を理解し、神様・祈りの文化を理解し、先人の知恵を学んで、愛着・誇り、よりどころを持てる地域活性化へ関わって行きたい。

3. 項立て

- 1・テーマ
- 2・テーマ設定の理由
- 3・宮城について
- 4・自分の変化
- 5・子供達へのアプローチ
- 6・研究のまとめ
- 7・課題
- 8・終わりに

卒業研究

学部名：地域・学校支援学部
氏名 新本 淳

1 テーマ

「愛着と誇り・さらなる地域の活性化を目指して」
～字宮城の地名由来の調査でルーツを知る～

2 テーマ設定理由

那覇から浦添市宮城に移り住んで50年。当時はまだ「浦添村」だった。移住する北那覇税務署通りは、この50年の間に税務署、銀行、病院、福祉施設、大型スーパー、飲食店が軒を連ね、さらに近年では競うようにアパートや高層マンションが次々と建築され、随分と様変わりし、昔の面影が殆ど残ってない。

字宮城の小字チョンダの小高い山も（通称でんわ山）も区画整理され宮城小学区が建築された。昔のサトウキビ畑や山の風景を今は写真でしか見る事ができないことにふと寂しくなると同時に、私自身この地域のことをどれほど理解しているのかと自問するのである。

私は神森小・神森中を卒業した。学校名が「神森」だが、所在地が字勢理客になっていることに疑問を感じ最近調べ、小字の「神森が原」から名付けられたと分かったが、小字の「神森が原」という神秘的な地名について興味はあるがまだ解明できてない。

また「宮城」の地名についても経緯が解らない。そこで私は「宮城」がどんな歴史を歩んで来たのか、どのような伝統文化が継承されてきたのか、先人たちの思いを知ることで地域への理解が深まるのではないかと思う。

私は「宮城」のことを教わることも伝統文化に関わることもなくこれまで生活してきた。

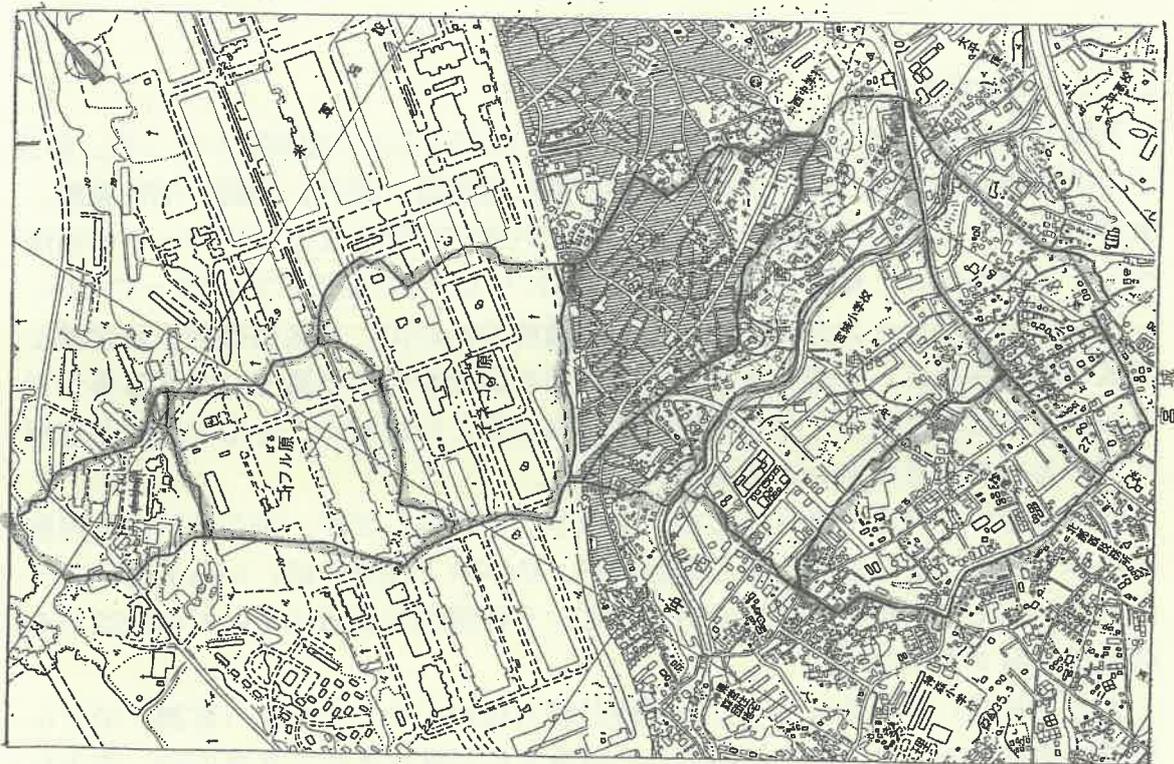
市民大学地域・学校支援学部での学びをとうして、地域の活性化に繋がることや、未来を担う子供たちに「宮城」に愛着と誇りをもってほしいこと「宮城」について伝える責任と役割があるのではと考えるようになった。

生まれ育った地域を理解し、地域発展のために私なりにできることを伝えたいと思い、本テーマを設定した。

3 宮城について

(1) 宮城の地理

宮城は、市の南西部に位置し北西に長く、小湾川下流域の海岸台地、海岸低地に位置し南に仲西内間、北に屋富祖、東は沢岬と大平、西の突端は東シナ海に面している。宮城はナークスク原（現1丁目）メー原（2丁目）チョンダ原（3丁目、4丁目）モチダ原（4丁目、5丁目）クモト原（6丁目）イネコブ原 ゴルフ原 トナイサ原の、八の小字からなる。面積1.29K㎡である。



(2) 宮城の歴史

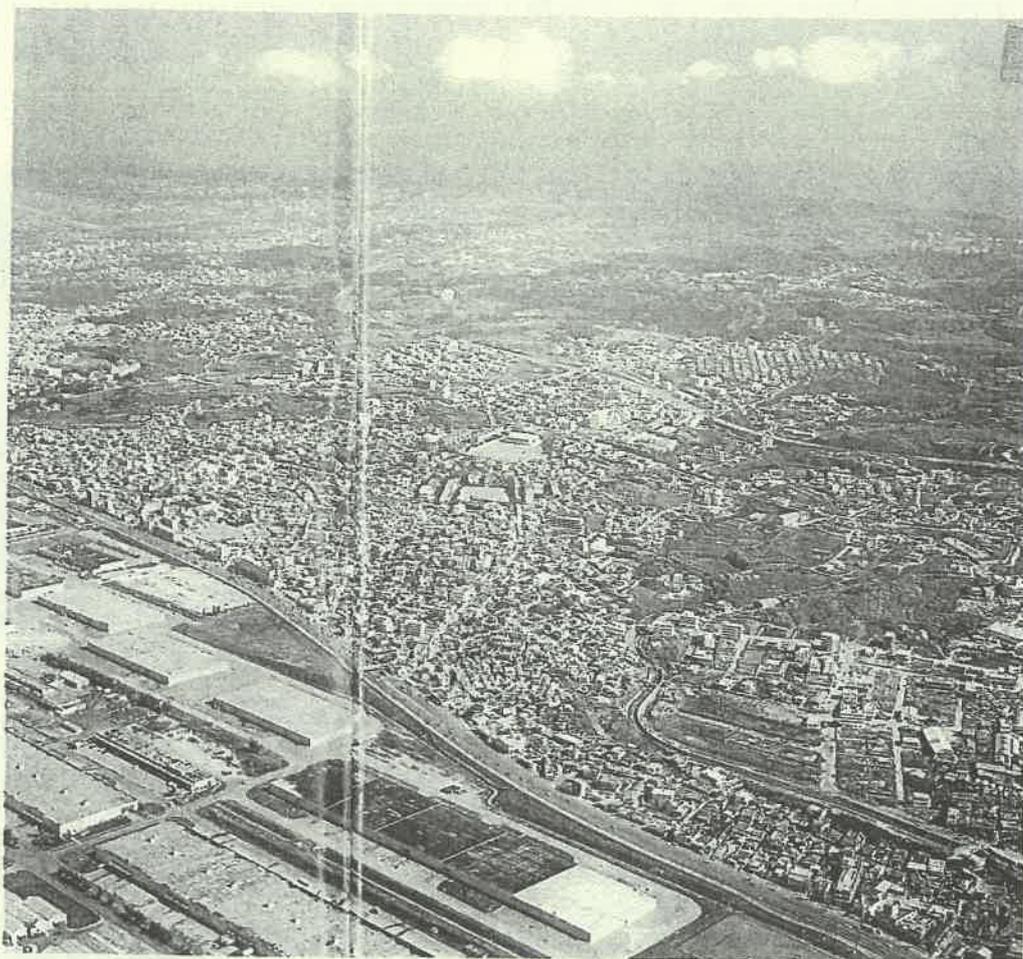
宮城の歴史は古く「絵図郷村町帳（1649年）」にその地名が記録されている。また18世紀後半に作成された「間切集成図」には「あはき川原（小湾川）」の下流右岸に宮城橋が描かれている。

戦前の宮城は世帯数126世帯、家族数437人であったが第二次大戦（沖縄戦により）、戦死者228人、戦死率52.2%とまさに半数以上の方が犠牲になっている。また一家全滅40戸一家全滅率31.8%と三分の一にも達している。

「浦添市史第5巻戦争編」

戦後の宮城は国道58号から海岸側に広がる農耕地と野原があったイネコブ原、コブル原、トナイサ原の3小字が米軍の牧港補給基地に接收され、宮城原の一部も国道にとられその様相は一変した。基地の建設とともに奄美大島はじめ県内各地から基地労働者の移住によって急速に市街地を形成していった。宮城は国道58号線沿い、宮城大通り、パイプラインと市街地化していった。

1970年浦添村から浦添市となり、1972年から始まった大宮区画整備事業による住宅造成は、急激に都市化していった。さらに近年道路や公園、下水道など都市基盤整備と相まって県都那覇市の都市エネルギーを吸収して、人口や事業所が急増している。

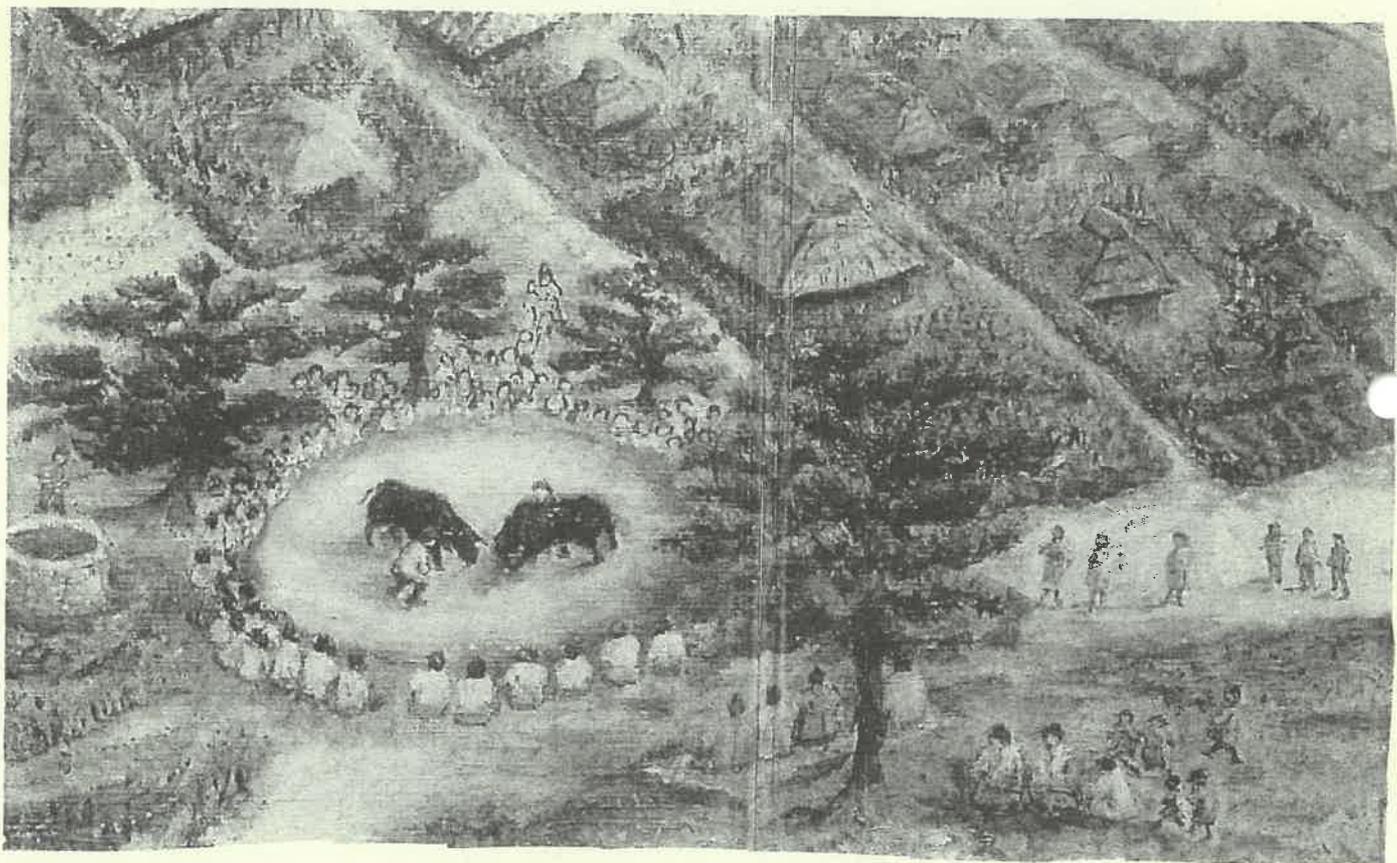


(3) 宮城の戦前の行事、文化

ウグワンジュ（拝所）は約 14 の拝所があり、各家庭で祝い事祭事、字の祭事が行われている。（トウン・殿でハチウガミ 1 月、シーミー 3 月 アブシバレー 4 月 ウグワンブトウチ 1 2 月）

神への信仰として、「イリマチュー・入り松尾」仲西小学校西側にニライカナイの神様として沖縄の神々が住み、俗世に豊穡、幸福や厄業をもたらす彼方の理想像の神が祭られていた。「デーグスク・火山」仲西村境の小湾側上流域の丘に神がいると信仰があった。

ウシオーラシ（闘牛）は、ウークイネナーチャ、正月、15 夜、年 3 回宮城原で行われチュラオーラシと言われ相手の主が納得するか、牛が逃げるまで闘われていた。宮城のウシオーラシは非常に有名で大和や、首里、那覇から闘牛観光に来ていたようである。チナヒキ（綱引き）は、6 月 25 日、カシチー（休日）に上門ヌ毛の向かいで、大人も子供も部落中全員で西と東に分かれて、夕方行われていた。



(5) 先人の思い

現在も宮城自治会では年間行事として、ウガン山トウン殿でハチウガミ（1月）シーミー（3月）アブシバレー（4月）ウグゥントウチ（12月）を行い、豊穡、幸福や、厄業をもたらす祈りをし 神、自然、祖先への感謝をしている。先人達の思いはこうして今も伝統的な行事として受け継がれています。宮城については、[字志 なーぐすく 浦添市宮城共有地等地主会]より引用

4 自分の変化

字宮城の地名由来調査をして先人の神・自然・祖先への信仰と感謝の念を強く感じた。モーアシービー・ウシオーラシ・綱引きから先人のどんな時でも楽しく生きる逞しさを感じた。宮城のことにさらに興味が湧き私自身も字宮城のことをさらに知りたいと思うようになり、愛着を感じるようになった。また自分の住んでいる地域の伝統行事を誇らしく思うようになった。

5 子供達へのアプローチ計画

対象 宮城小学校の子供達約 40 人 宮城児童館にて宮城に興味をもってもらえるように写真も見せながら話をする。

テーマ 「宮城小学校が出来る前の風景、遊び」

(1) 宮城小学校が出来る前の風景を写真で見てもらおう。

山、丘、サトウキビ畑が整備され、今日までのつながりを知ってもらおう。

(2) チョンダ公園の名前の由来を考えてもらおう。

宮城は8の小字からなりチョンダの場所を知ってもらおう。

(3) チョンダで今も変わらないものを考えてもらおう。

小湾川の説明と私が子供の頃遊んだ、チョンダの遊びを紹介する。

(4) 昔の人はどんな仕事をして生活していたのか考えてもらおう。

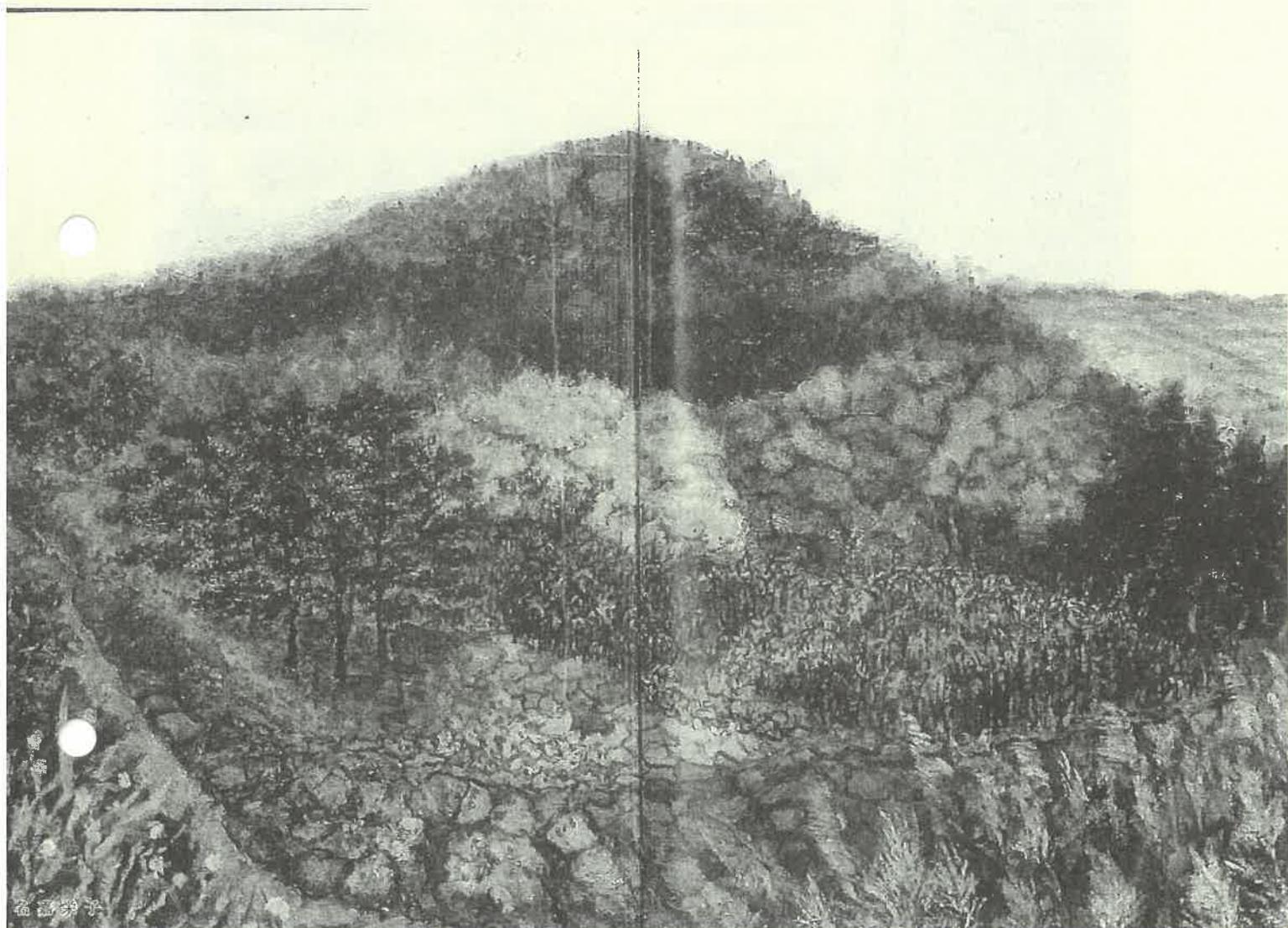
農業の営みを知ってもらおう、共同体。

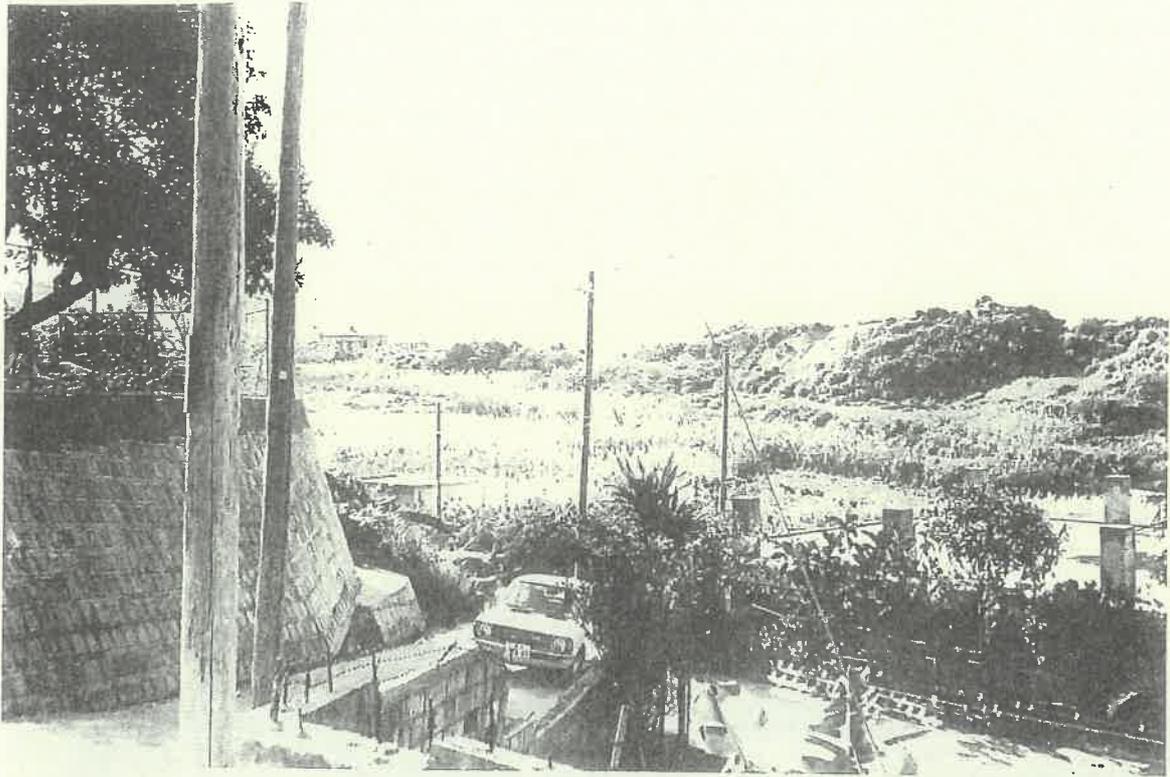
(5) 農業の営みの中、地域でどのような共同体を作ったか。

神、自然、祖先、祈り、伝統行事を知ってもらおう。

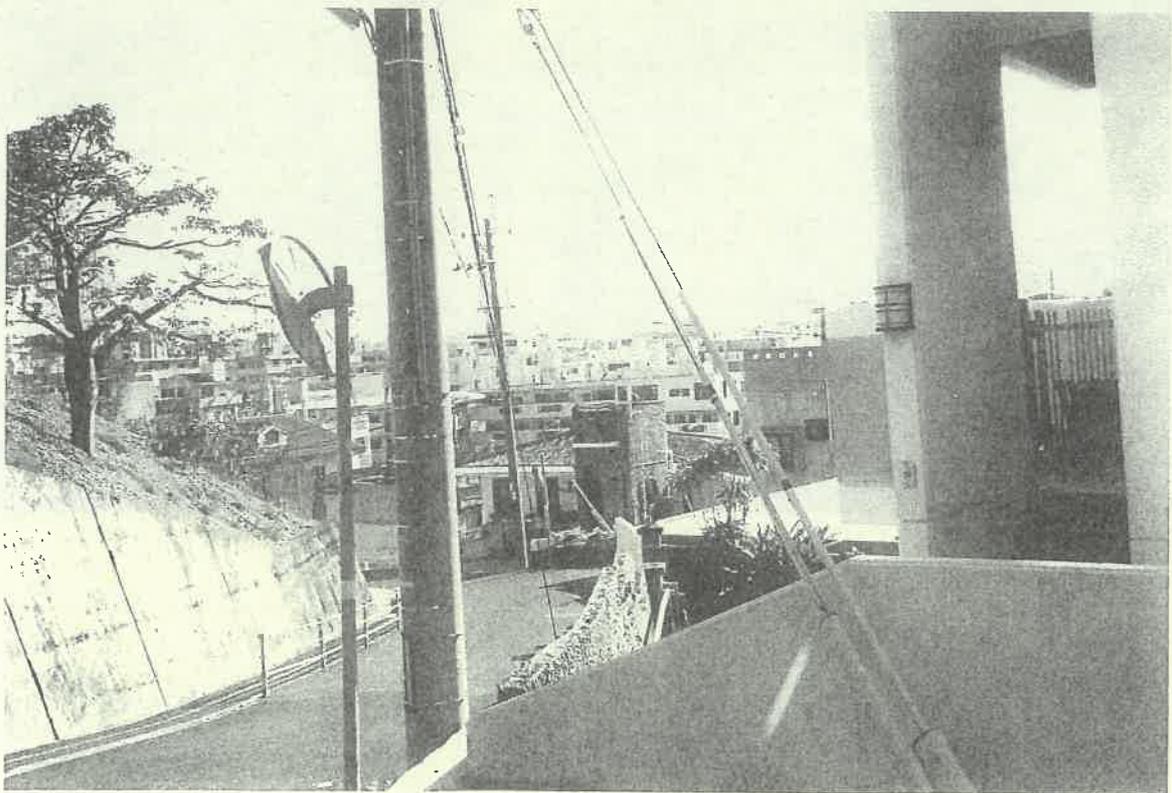
子供達に昔の宮城を知ってもらい地域に興味をもってもらう。

地名由来や地域に根づく伝統的な行事について理解することで子供たちは自分の住んでいる「宮城」について愛着を感じてくれるにちがいない。また、これまで気にも留めなかった各種行事にも興味を示してくれるだろう。地域をより深く理解しながら育っていく中で「宮城」に誇りを感じるようになってほしいと切に願うものである。

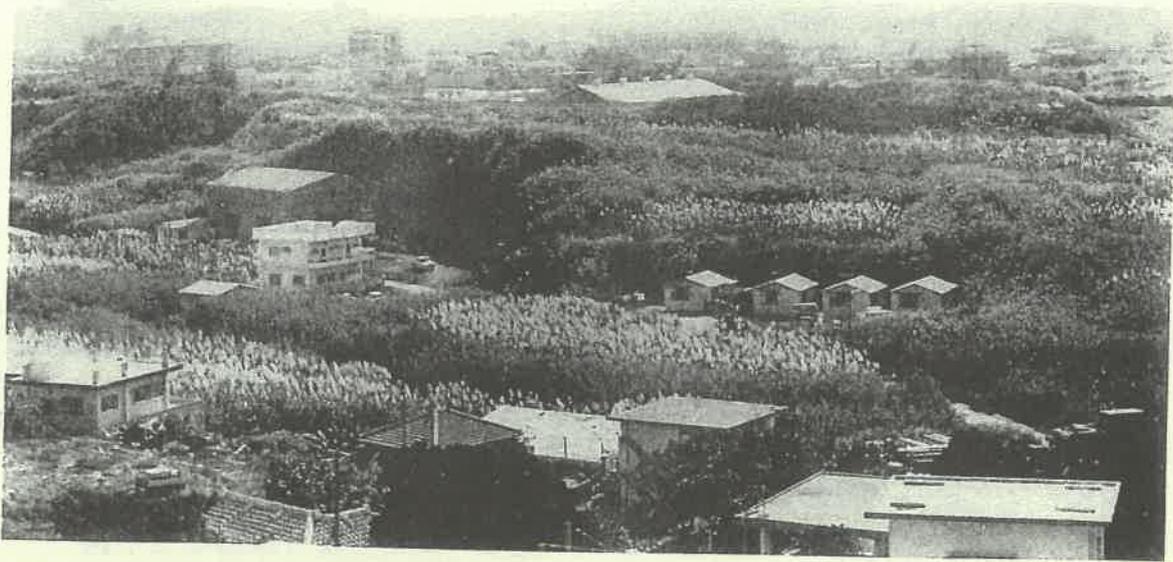




昭和30年代の宮城（通称でんわ山）現在の宮城小学校付近



現在の宮城公民館横の急な坂から宮城小学校付近を撮影



宮城 3 丁目付近 1960年代



現在の宮城 3 丁目付近 2012年 1 月

6 研究のまとめ

(1) 字宮城にはこんなにも数多くの聖地（拝所）があることがわかった。

現在も自治会が伝行事を継承していることがわかり、自分も参加、協力していこうと考えるようになった。

(2) 戦争により浦添市が激戦区であることは知っていたが、戦死率 52%、一家全滅率 32%の結果に驚かされた。

(3) 宮城の伝統行事が先人の生活の知恵が反映されていることに興味を湧いてきた。純農業での、ムラヤ共同体での伝統行事が、P 計画（ハチウガミ、豊作の願い）D 実行（ムラヤから伝わる種まきなど農作業）C 評価（アブシバレ一、虫払い、品評会）A 改善（グワントウチ、感謝と改善）を繰り返し、純農業時代から戦後の復興、そして今日までの発展へ繋がっていると考えるようになり、宮城の先人への感謝の気持ちが強くなった。

7 課題

今回の報告は文献のみ調査で、子供たちのアプローチも計画までで終わっている、今後 私自身も宮城の伝統文化に触れ 宮城のことをより理解して子供たち（大人も）に字宮城（地域）に興味を持ってもらえるアプローチをし、地域活性化へと繋げていきたいと考えている。

8 終わりに

卒業論文取り組みにあたり高良学部長、講師、事務局、「字史 ナーグスク」を紹介いただいた川満さん、心から感謝、お礼申し上げます。さらに地域を理解し地域発展のために私なりに伝え、行動し てだこ市民大学で学んだことを、字宮城、浦添市で生かし実践することを誓います。



てだこ市民大学

卒業研究

学部名： 地域・学校支援 学部

氏名： 平良 幸信

1. テーマ

「地域の活性化並びに学校児童生徒の健全育成」

2. テーマ設定理由

現在、内間自治会の総務部員として自治会年間行事計画等の企画や運営活動に取り組んでいる。最近では協力する人も増え、学校と地域との関係も深まり、今後地域に誇りを持てるよう児童生徒の健全育成に取り組む必要があると思

3. 項立て

行動計画

- (1) 新年会
- (2) 餅つき大会
- (3) てだこウォークもてなしサービス
- (4) 手作りこいのぼり作成者協力依頼
- (5) こいのぼり祭り
- (6) 内間夏祭り



卒業研究

学部名： 地域・学校支援 学部

氏名： 村元 麓子

1. テーマ

地域・学校支援ボランティアを実践して

2. テーマ設定理由

子育てが落ち着き、夜にウォーキングを始めた頃、地域の公園やコンビニの前で座り込んでたむろっている子どもたちに帰宅を促したところ、「家で誰も心配していない」の反発の返事が返ってきた。子どもが家にいなければならない時間帯に外に
いることで、事件や事故に巻き込まれないか不安になった。地域

3. 項立て (概要でも良い)

- 1・テーマ
- 2・テーマ設定の理由
- 3・学校での活動
- 4・地域活動
- 5・成果と課題
- 6・おわりに



浦添市「てだこ市民大学」事務局

〒901-2501 沖縄県浦添市安波茶1-1-1

浦添市教育委員会教育部生涯学習振興課内

電話 098-876-1234(内線6064)

FAX 098-879-7280

E-mail syogaku@city.urasoe.lg.jp

